

全国住宅産業協会 第49回全国大会



協会発展にさらなる協力を呼び掛ける神山会長



幹事協会として挨拶する逆瀬川理事長

全国住宅産業協会（全住協、神山和郎会長）の第49回全国大会が11月16日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開かれた。全国から約580人の会員らが参加し、住宅税制の抜本的な検討や住宅融資制度の一層の拡充などの大会決議を全会一致で採択した。県住宅産業協会（逆瀬川勇理事長）が幹事協会となつて初めての本県開催となった。

神山会長は、「都市環境を健全かつ継続的に維持するためには、空き家対策や老朽化マンションの建て替えなどの新たな課題に直面している。住宅・不動産市場の活性化に向けて課題を克服し、業界の発展につなげていきたい」と協力を呼び掛けた。また、逆瀬川理事長も「来年の明治維新150周年を節目に大河ドラマが放映されるなど、鹿児島は大きく変わろうとしている。この機会に歴史豊かな鹿児島の街の魅力を感じてほしい」と開催にあたっての感謝の言葉を述べた。



全国大会の様子

来賓挨拶では、前原尉県議会副議長が柴立鉄彦県議会議長の代理として祝辞。前原氏は、「本大会を契機に、住宅産業の発展と地域振興を図り、安心安全な街づくり、魅力ある地域づくりに尽力してほしい」また、「個性豊かな鹿児島の歴史と文化を満喫していただきたい」と話した。



発行／(一社)鹿児島県住宅産業協会

編集／株鹿児島建設新聞 2017年12月11日発行

— 島津修久氏が講演 —



講演日本と島津家の歴史について

大会後は、記念講演も開催。島津家第32代当主である島津修久氏が「日本と島津700年の歴史」と題し、島津家と日本、海外との関係を説明した。

島津家は、薩摩の守護職として始まり、700年に渡り領土の安定を図ってきた。歴史的にみると、大航海時代には種子島に鉄砲が伝來したほか、キリスト教が普及。また幕末には、いち早く西欧の技術を取り入れ、造船や製鉄、紡績事業を興し海外との貿易を行い、明治維新的な立役者となった。

島津氏は、闇ヶ原の戦いにおける島津義弘の敵中突破や明治維新、家老・平田鞆負を総責任者とする木曾川治水工事などの偉業を例に挙げ、「薩摩人は率直で勇敢。先見の明を持った有能な人材が今日の日本の礎を築いた」と話し、鹿児島の歴史、文化を紹介した。このほか、薩摩琵琶「城山」と示現流の演武も披露された。



薩摩琵琶と示現流の共演

— 全住協主催 現場見学会 —

大会開催に合わせ、事業系4委員会共催による鹿児島地区見学会を開催。九州旅客鉄道㈱が建設中の九州最大級の分譲マンション「M J Rザ・ガーデン鹿児島中央（総戸数472戸）マンションギャラリー」に設置された太陽光発電などを視察した。

- 見学先は次の通り。
- ネット・ゼロ・エネルギーhaus（Z E H）（三洋ハウス㈱本社）
- 分譲宅地「リオーネヴェルネ（42区画）」（三洋ハウス㈱）
- 「木間間な家」魚見町モデルハウス（三洋ハウス㈱）
- 小正醸造焼酎製造工場「日置蒸留蔵」
- 宅地造成地（㈱東邦開発）
- M J Rザ・ガーデン鹿児島中央マンションギャラリー
- 宅地造成地（㈱富士土木エンヂニアリング）



記念ゴルフ大会

企画担当：宅地開発委員会

全国の会員ら83人が参加し、姶良市の鹿児島高牧カントリークラブで開催。晴天の下、プレーを楽しんだ結果、山田義博さんが見事優勝した。

参加者は和やかにプレーを満喫し、親睦を深め合った。表彰式では、上位入賞者に豪華景品が送られた。

主な成績は次の通り。

優勝＝山田義博▽準優勝＝安田一▽3位＝道上勉

大会では、2018年度の住宅・土地に係る政策要望事項について協議。国民の住宅取得能力を高めるには、住宅金融支援機構の役割が大きいとして、フラット35の審査基準の柔軟性を持った対応をはじめ、国民の生活水準の向上を求める提言をまとめた。

また、県住宅産業協会の岩下克己副理事長が消費

再増税をめどとした住宅税制の抜本的な検討など5項目を盛り込んだ大会決議案を提案し、政府や関係団体に強く要望していくことで決定した。

なお、50回目となる全国大会は関西住宅産業協会が幹事協会となり、大阪府で開催される予定。

懇親会

懇親会では、観光プロモーションビデオを放映し、本県の魅力（歴史・文化・食など）をPR。挨拶に立った逆瀬川勇理事長は、「大会も無事に終了し安堵している。全国の会員の皆さまと交流を深めたい」と挨拶した。

このほか、渡邊茂県土木部長（三反園訓県知事代理）や水元修一鹿児島市建設局長（森博幸鹿児島市長代理）も「良好な住環境の整備を進めさせていただき、街づくりの健全な発展に力添えをお願いしたい」「コンパ



三反園訓県知事の祝辞を代読する渡邊茂県土木部長



森博幸鹿児島市長の祝辞を代読する水元修一鹿児島市建設局長



懇親会の一場面



有菌米也副理事長の発声で乾杯



西田あいさんの歌を披露する西田あいさん



マグロを解体する職人



新規入会員



川崎 康智
(旭機工㈱)

丸天建設㈱の水口隆浩社長の紹介で入会することになりました。弊社は主に給排水・空調設備関係の仕事をしております。協会の発展に貢献できるよう、会員の方々との交流を深めていきたいです。



前田 数馬
(㈲前田土木技術)

弊社は霧島市溝辺町で測量設計業と不動産業を主とし、宅地開発・林地開発申請業務から宅地建物取引までトータルにサポートいたします。会員の皆さまとより良い関係を構築し、協会発展のために努力していきたいです。



門松 誠司
(㈱SKマネジメント)

この度、丸天建設㈱の水口隆浩社長よりお誘いいただき入会することになりました。さらなる協会の発展、地域貢献のために微力ではありますが力を発揮できればと思っております。



日当瀬 賢
(サンエンスホーム九州)

㈲ツーウェイズの小野大社長とのご縁がきっかけです。弊社は、「真壁」の新築戸建住宅を「低価格」でお客様にご提供している工務店です。皆さまと「笑顔」で「楽しく」お付き合いさせてください。



斎藤 龍磨
(㈲斎藤建設)

丸天建設㈱の水口隆浩社長からのお誘いを受け入会させていただきました。弊社は土木・建築工事を中心とした業務を行っています。協会員の名簿を拝見して浅学非才の私にとって只々驚いています。多くの諸先輩方から一つでも多くの事を学び、吸収できるように参加させていただきたいと思います。



窪 勇祐
(㈲窪商事)

丸天建設㈱の水口隆浩社長からのお誘いがきっかけです。弊社は、不動産売買や不動産コンサル業務を中心に、不動産業者の仕掛けるまちづくりも手掛け業務を行っております。皆さまと一緒に情報交換、意見交換を通して交流を深めています。また各種セミナーも開催しているようなので、自分自身の学びの場にもなると期待しております。

2018年新年会のご案内

next schedule

日時 平成30年1月11日(木) 受付 18:30~

場所 鹿児島サンロイヤルホテル(鹿児島市与次郎)

※全会員の参加をお願い致します。
1社3名の参加も歓迎致します。

南薩摩を巡る日帰りツアー

企画担当：広報委員会

全国の会員ら27人が参加、神山会長夫妻、逆瀬川理事長夫妻も参加されました。「薩摩の小京都」と呼ばれる知観を訪れ、美しい街並みが佇む武家屋敷庭園を散策したほか、陸軍特別特攻隊員の遺影や遺品、記録など貴重な資料を収集・保存・展示してある特攻平和会館を見学した。



記念ゴルフ大会

企画担当：宅地開発委員会

全国の会員ら83人が参加し、姶良市の鹿児島高牧カントリークラブで開催。晴天の下、プレーを楽しんだ結果、山田義博さんが見事優勝した。

参加者は和やかにプレーを満喫し、親睦を深め合った。表彰式では、上位入賞者に豪華景品が送られた。

主な成績は次の通り。

優勝＝山田義博▽準優勝＝安田一▽3位＝道上勉